

B 個別学習

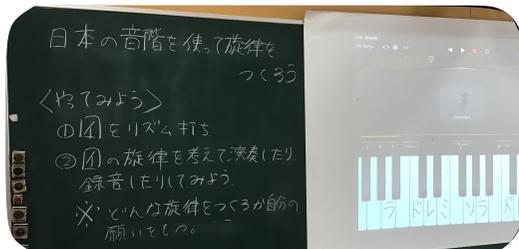
B4 表現・制作

学習の目標

「ソーラン節」など日本の民謡で使われている音階を使って
旋律（メロディー）をつくろう。



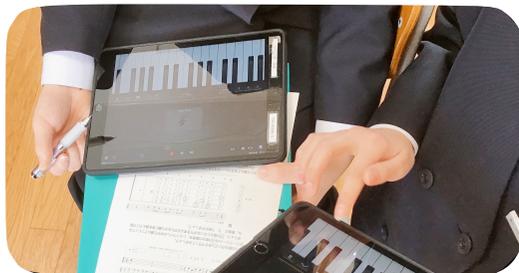
①民謡音階を使って旋律つくる「創作」の授業です。教師は、最初の2小節の旋律と、続きの2小節の「旋律をつくるリズム」を提示しました。生徒はピアノに合わせてリズムを手で打ってみました。旋律は「レミソラドレ」の中から選んで作ります。



②生徒は自分の願いや思いを大切に旋律を考えます。「中間の高さの音をなるべく使って、落ち着いているけど元気な旋律」にしたいとか「全ての音を使って、上がったたり下がったりする旋律」にしたいといった願いを学習カードに書きました。



③教師から最初の2小節の旋律が演奏されているデータがAirDropを使って生徒の持つiPadに配布されます。続きの2小節の「旋律をつくるリズム」を、「レミソラドレ」の中から選んで学習カードに記入し、実際に演奏しながら修正を行なっていきます。最後は「ラ」で終わるようにします。



④GarageBandで演奏してみて自分の願った音の動きになっているか確かめながらいろいろと試します。友だちにも聞いてもらって感想を聞き、さらに修正をしていきます。気に入った旋律ができればGarageBandに録音します。次の時間は、作品の発表会です。

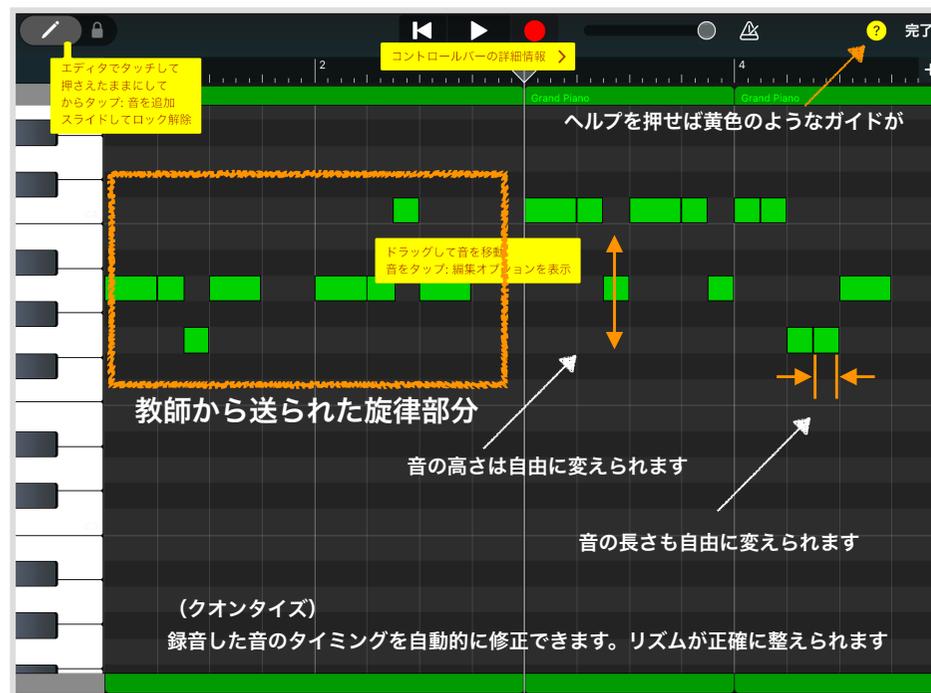


GarageBand

GarageBandを使うとできあがった作品を
客観的に見返すことができます

児童生徒はピアノ演奏が上手にできないことで「創作」活動に苦手意識を持ってしまふことがあります。GarageBandでは音の高さと長さを自由に編集することもできますので、必ずしもピアノ演奏して入力しなくても旋律をつくることができます。また、自分の作品を客観的に見返して検討することができます。

下の画面からもわかるように直感的に曲を作り上げていくことが可能です。



高遠中学校 音楽 伊藤佳代先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました